

令和5年7月31日～8月6日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第14報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

7月31日～8月6日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、7月31日に「**嚴重警戒**」を示す28以上31未満となり、8月1日以降は「**危険**」を示す31以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、暑さ指数(WBGT)は常に高くなり、8月5日は2近く高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全都市で「**嚴重警戒**」を示す28以上になる日があり、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、高知、福岡、鹿児島では「**危険**」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。

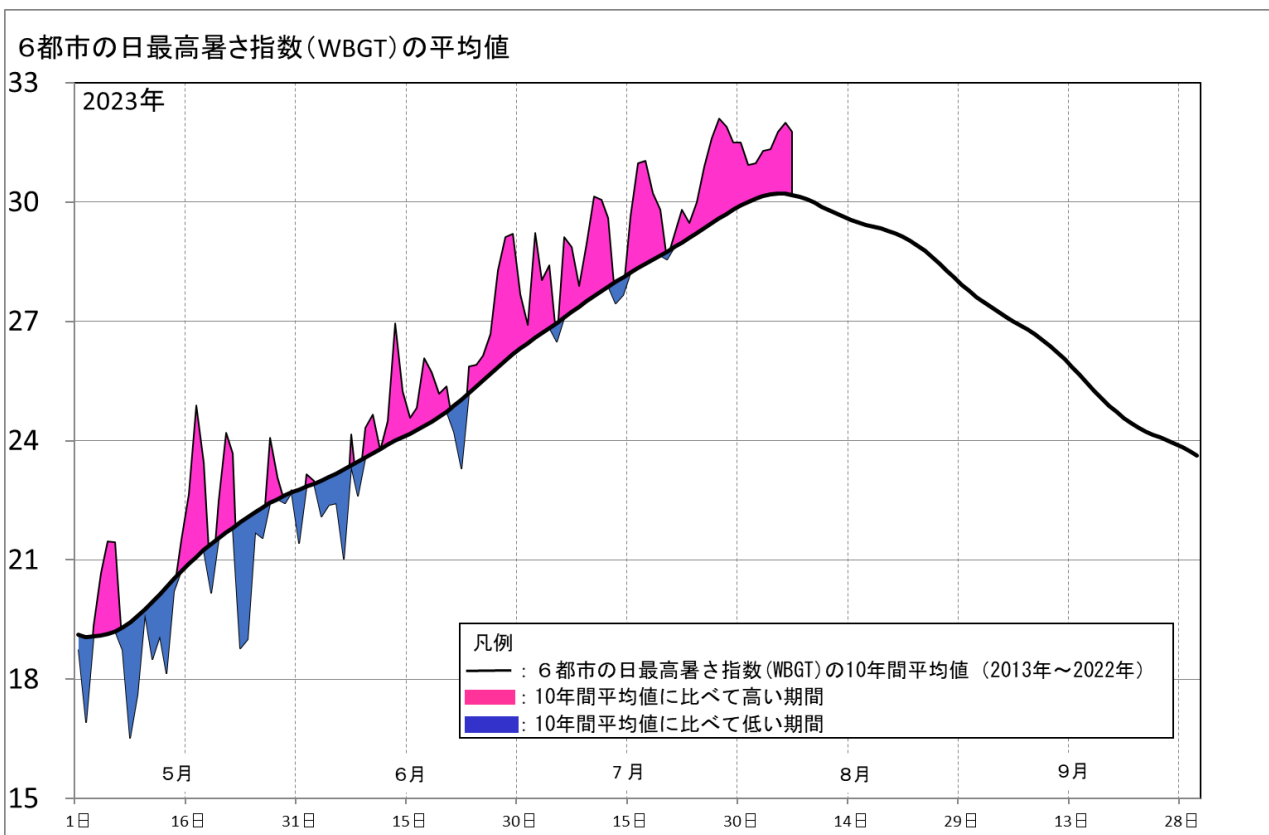


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(7月31日～8月6日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
31	25.4	32.0	30.3	32.8	31.7	31.0	29.0	29.3	30.8	29.8	29.9	30.9
1	28.3	29.6	30.4	29.9	32.4	30.8	30.4	31.1	32.0	31.1	29.5	31.0
2	29.4	30.9	30.4	33.0	32.7	30.5	29.3	31.4	31.8	31.3	26.6	31.3
3	29.2	30.7	30.9	31.9	31.4	30.2	30.0	31.2	33.6	31.2	27.6	31.3
4	28.8	31.5	31.4	33.3	32.0	31.1	30.0	31.1	32.8	31.6	27.8	31.8
5	27.3	31.0	31.5	32.5	32.6	31.7	30.7	31.2	33.0	33.0	26.1	32.0
6	23.6	31.3	31.3	32.4	32.3	31.6	30.7	32.2	32.3	32.0	26.5	31.8

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月31日～8月6日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	11	7	33	22	7	0	12	33	9	0
28以上	8	61	75	65	75	54	56	64	82	62	8
25以上	62	131	139	145	160	160	134	156	162	168	165

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

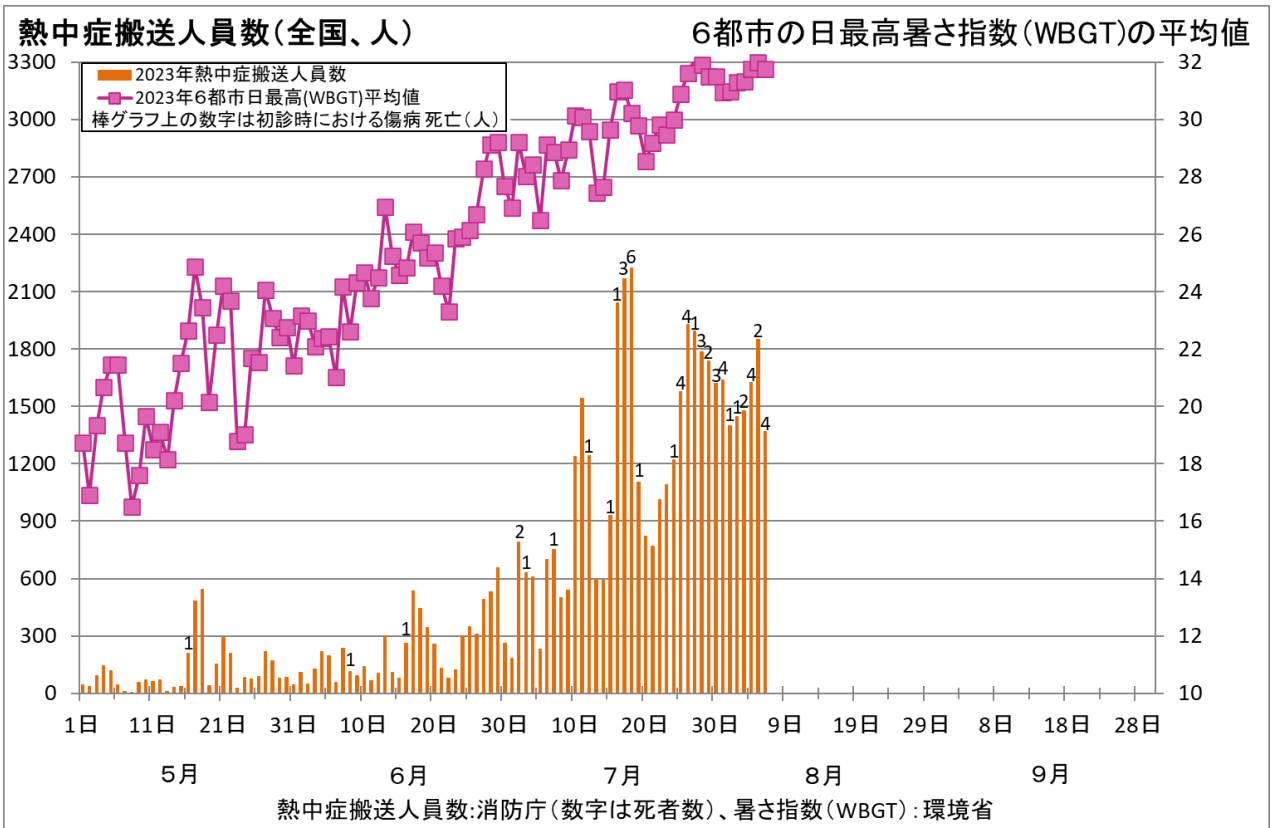


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と全国の熱中症搬送人員数の推移

消防庁発表の速報によると、熱中症による全国の救急搬送人員数は、連日1,000人以上となり、多い日が7月31日の1,640人、8月5日の1,851人で、7月31日～8月6日の総数は10,810人(死者18名含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月31日～8月6日の間、熱中症警戒アラートの発表状況は以下のようになっております。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月31日～8月6日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0.1	3.3	3.9	4.5	6.5	5.7
のべ回数	1	20	35	18	26	34
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	5.5	5	5.8	3	0.3	
のべ回数	22	20	35	9	1	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通し（8/9 14:30時点）

8月11日までの予測期間において、全国で「危険」を示す暑さ指数31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（8月9日発表、8月10日～8月21日）によると、「北・東・西日本の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高い日が多く、かなり高い日が続く所もあるでしょう。農作物の管理等に注意してください。また、熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

沖縄・奄美の気温は、16日頃までは低く、その後は平年並か高いでしょう。年間で最も気温の高い時期にあたるため、熱中症対策など健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について（気象庁提供図を補足）

北海道		宗谷			
上川・留萌		網走・北見・紋別			
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室		
胆振・日高					
渡島・檜山					
				青森	
				秋田	岩手
				山形	宮城
				東北	
				石川	
				富山	新潟
				福島	
				北陸	
				福井	岐阜
				長野	群馬
				山梨	栃木
				茨城	茨城
				関東甲信	
				山梨	埼玉
				東京	千葉
				神奈川	
				東海	
				三重	愛知
				静岡	
				近畿	
				和歌山	
				中国	
				山口	広島
				岡山	鳥取
				兵庫	京都
				滋賀	奈良
				九州北部	
				山口	福岡
				佐賀	大分
				長崎	
				九州南部	
				熊本	宮崎
				鹿児島	
				奄美	
				四国	
				愛媛	香川
				高知	徳島
				沖縄	
				沖縄本島	
				八重山	宮古島
				大東島	